CASBEE®横浜 ▌評価結果 ▌5-095

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 |使用評価ソフト：CASBEE横浜2022年版v.1.2

1-1 建物概要

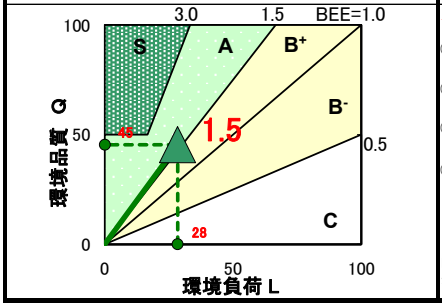
建物名称	横浜市幸浦NKビル開発新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市金沢区幸浦二丁目12番3	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし	平均居住人員	10 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 竣工	評価の実施日	2023年11月24日
敷地面積	7,643 ㎡	作成者	吉田 隆
建築面積	3,915 ㎡	確認日	2023年11月25日
延床面積	15,078 ㎡	確認者	吉田 隆

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

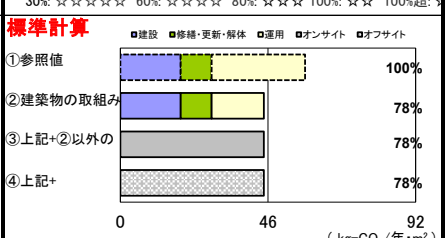
BEE =1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



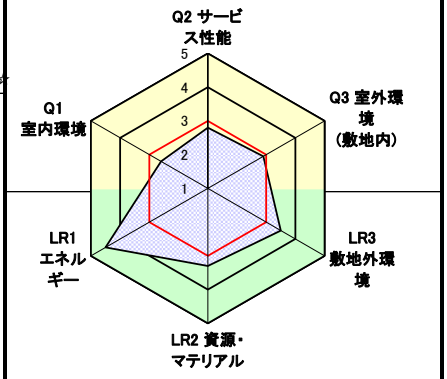
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

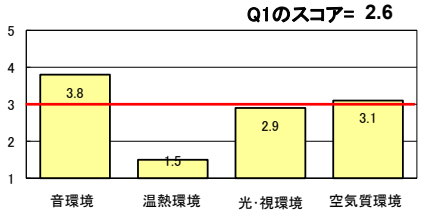
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



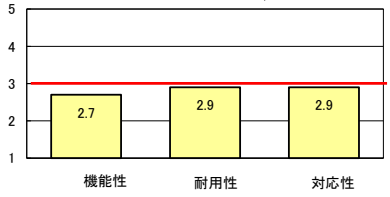
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　Q のスコア= 2.8

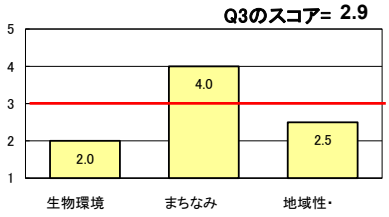
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.6



Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

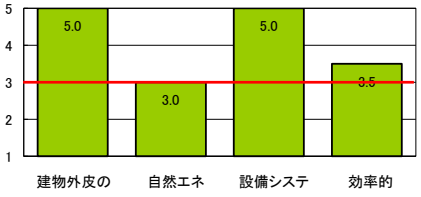


Q3 室外環境（敷地内） Q3のスコア= 2.9

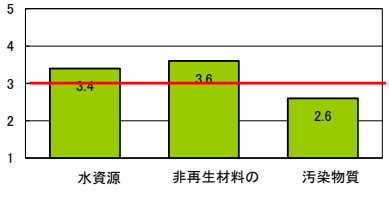


LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.8

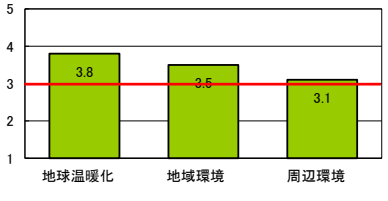
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.5



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3



LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.5



3 設計上の配慮事項

総合

工業地域として、町並みと調和した建物とする。建物をセットバックさせメイン道路からの圧迫感を低減している。周辺に緑地帯を設け環境配慮した。

その他

切土、盛土が極力少なくなるよう計画し、残土を減らし、埋土は無くした。又、土壌汚染対策として、地中の汚染土（ヒ素）に影響を及ぼさないように深さを計画した。

Q1 室内環境

冷凍冷蔵庫の入出庫のための荷受け事務所があり、事務室、ドライバーの休憩室、乾式トイレを用意した。ブラインドを設置し、日射を遮れるようにした。

Q2 サービス性能

24時間対応のトラック入出庫とし、前面道路の渋滞緩和を計画した。

Q3 室外環境（敷地内）

歩道側に植栽（高木）を配置し、周辺景観に合わせた植栽計画とした。

LR1 エネルギー

屋根、床に断熱材を施した。サッシは複層ガラス（Low-E）を採用した。照明には消費電力の小さいLEDを採用した。屋根はダブル折版屋根（断熱材入り）とした。照明はLED、給水は節水器具を採用した。

LR2 資源・マテリアル

内装にはF☆☆☆☆の建材を積極的に採用する。また、内装壁、天井は軽鉄
下地+PBとし、躯体と分離可能にする。

LR3 敷地外環境

工業地域らしく、建物の外壁色は無彩色とした。ベースカラーは、冷凍冷蔵庫らしいホワイトとして
横浜臨港に相応しいものとした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい

Confidential

CASBEE横浜 評価結果 5-095
CASBEE横浜2022年版v.1.2

4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。 建物名称 横浜市幸浦NKビル開発新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 44 %削減

一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	対象外
受付日	2023年11月28日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

屋根をダブル折版とし、サッシは複層ガラスを採用した。

照明は消費電力の少ないLEDを使用。給水器具を節水型とし、水資源利用の削減に努めた。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

アルミサッシの遮音性能をT-2とした。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

冷凍冷蔵庫への荷受け対応として、事務室、休憩室、乾式トイレを設けた。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

歩道側に植栽(高木)を配置し、周辺景観に合わせた植栽計画とした。

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

切土、盛土が極力少なくなるよう計画し、残土を減らし、埋土は無くした。

土壌汚染対策として、地中の汚染土(ヒ素)に影響を及ぼさないように深さを計画した。

内装壁、天井は軽鉄下地+PBとし、躯体と分離可能する構造とした。

ゆとりを持った床荷重の設定をしている。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

建物をセットバックさせメイン道路からの圧迫感を低減している。周辺に緑地帯を設け環境配慮した。

工業地域らしく、建物の外壁色は無彩色とした。

24時間対応のトラック入出庫とし、前面道路の渋滞緩和を計画した。

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
――――――	
エネルギーマネジメントシステム導入	その他;
―― ――	

Confidential

CASBEE横浜 評価結果 5-095

CASBEE横浜2022年版v.1.2

横浜市幸浦NKビル開発新築工事

バージョン　CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート　実施設計段階

配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>		建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質				-		-	2.8
Q1 室内環境				0.30			2.6
1 音環境			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 騒音			3.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音			5.0	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能			5.0	1.00	-	-	-
2 界壁遮音性能			-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	-
1.3 吸音			3.0	0.20	-	-	-
2 温熱環境			1.5	0.35	-	-	1.5
2.1 室温制御			2.0	0.50	-	-	-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	2.0	0.25	-	-	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境			2.9	0.25	-	-	2.9
3.1 昼光利用			2.4	0.30	-	-	-
1 昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	0.60	-	-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	-	-	-
3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	4.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	3.0	-	-
4 空気質環境			3.1	0.25	-	-	3.1
4.1 発生源対策			4.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-	-
4.2 換気			2.3	0.30	-	-	-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.33	3.0	-	-
4.3 運用管理			2.0	0.20	-	-	-
1 CO_2の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.50	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-
Q2 サービス性能			–	0.30	-	-	2.8
1 機能性			2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ			2.0	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.33	-	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-
1.2 心理性・快適性			3.3	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.33	-	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	1.0	-	-
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性			2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性	防　災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防　災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数			2.8	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防　災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防　災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防　災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防　災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防　災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防　災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防　災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防　災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防　災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防　災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防　災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			2.9	0.30	-	-	2.9
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり			5.0	0.60	-	-	-
2 空間の形状・自由さ			1.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性	Confidential		1.0	0.20	-	-	-

CASBEE横浜 評価結果 5-095

CASBEE横浜2022年版v.1.2
横浜市幸浦NKビル開発新築工事

バージョン　CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目	重点項目 ＜非住宅＞ ＜集合住宅＞		建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境（敷地内）			–	0.40	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑱生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑲まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑳地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			–	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			–	0.40	-	-	4.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	4.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			–	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤（断熱材等）			3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			2.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			–	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	0.50	-	-	-
2 振動			3.0	0.50	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-
2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策			3.0	0.30	-	-	-

上記以外の重点項目				-	-	-	-
＜事務所用途＞				-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	3.0	-	-	-	-
＜住宅用途＞				-	-	-	-
健康と安心				-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える（共用部の防犯対策）	健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-

Confidential